

—夢・大地 みんなが愛する水の里—

とめ 市議会だより

2011
第23号
2月1日

とめ市議会だより 第23号

平成23年2月1日発行

発行／宮城県登米市議会 〒987-0695 登米市迫町佐字中江二丁目6番地1
編集／登米市議会編集委員会 ☎0220-22-1913 FAX0220-22-9225

目次

新たに31施設の指定管理がスタート.....2
 ここが聞きたい(一般質問)[19人登壇].....6
 常任委員会活動報告.....16
 議会意見交換会を開催.....20

「もちつきペッタン」
南方子育てサポートセンター

議会維新がはじまる！

議会意見交換会を開催

「議会が変わります」

市民の信頼に応える、開かれた議会を目指して「議会の基本条例」を制定するため、1月18日、20日、21日の3日間、市内9カ所で意見交換会を実施いたしました。
 市民皆さんから多くのご意見をいただきました。貴重なご意見を条例制定の取り組みや今後の議会活動に生かしたいと思っております。



1月20日 登米総合支所



1月13日 迫公民館



1月20日 豊里公民館



1月20日 中田農村環境改善センター



1月21日 津山老人福祉センター



1月20日 石越公民館



1月20日 粟山農村環境改善センター



1月21日 東和総合支所



1月21日 南方庁舎

議会からのお知らせ

市議会2月定例会

2月15日(火) 開会予定

議会は市政を知るよい機会です。
お気軽に傍聴してください。

議会編集特別委員会

議長	中澤	副委員長	岩淵
長星	佐藤	委員	工藤
順一	田口	伊藤	淳子
	関	吉浩	正宏
	久義	孝	政信
	尚哉	宏	

あけましておめでとう
 ございます。
 貧困と孤独死が憲法25条のある国で社会問題になっている。市内でも同じような事例が発生している。
 役所も議員も「困った時に相談すれば何とかなる」という安心感を市民に与えられるようになりたいと思う。
 議会では、自らの襟を正す議会改革に取り組んでいる。地域医療の確立で、安心できる医療改革にも取り組んでいる。
 市民に信頼される議会になれるように今年も頑張ります。(佐藤 尚哉)

あとかき

4月から新たに 31施設の指定管理がスタート

12月定例会は、12月2日から12月16日までの15日間の会期で開かれました。本定例会では本年度各種会計補正予算、指定管理者の指定、条例改正など27議案、請願2件、環太平洋連携協定（TPP）交渉参加反対などの意見書2件、市弓道場の整備を求める決議をいずれも原案のとおり可決しました。

指定管理者の指定

◎公民館やこじか園、石越有機センターなどの管理運営業務を行う指定管理者を指定するもの。

◎公民館は地域の寄りどころ、指定管理でどう変わる。

◎教育事務所はそのまま残す。市民の方々が工夫しながら行事を行っていく。

◎管理責任者の責任となるのはどういったケースか。

◎危険を知っていて防護をしない時や、カギの施錠をしないで被害に遭った時は管理者の責任となる。

施設の修理はどうする。

◎整備をして管理をお願いする。その後修理が発生した場合、市が修理を行う。

◎教育委員会の職員が大幅に減少するが支障ないか。

◎教育委員会と連携しながら、過不足にならないように職員を育成しながら取り組む。

企業立地活性化法に基づく産業集積条例の制定

◎本来、長沼工業団地の緑地等の割合を25%以上としなければならぬものを、条例制定することにより、その下限を1%以上とするもの。

◎市の環境基本条例等を定めている中で、緑地割合を最小限1%に定めることは、環境への整合性や、このことが前例となり、他の地域にも影響が出てくる心配はないか。

◎あくまで長沼団地内の制定であって、他地域はまた別の問題である。環境への配慮

反対討論

◎企業誘致が有益なことは十分理解しているが、環境への取り組みの観点から、理解の得られる答弁がないので反対する。

◎なぜ1%なのか。5%、7%、10%ではだめなのか。

◎都市計画法において将来工業専用地域になることや、他自治体の条例規定に負けないためにこのようにした。

賛成討論

◎例えば登米市が砂漠地帯だったら、当然工場に一定の緑は必要と思うが、登米市の半分は山であり平坦の9割は田んぼである。本団地ののり面14%も緑地であるので賛成する。

（起立多数で原案可決）

佐沼病院が登米市民病院に

◎①佐沼病院の名称を「登米市民病院」に
②よねやま病院を「よねやま診療所」に
③米谷病院の「歯科」と「口腔外科」、登米・よねやま診療所の「歯科」の民営化に伴い診療科目から削る
④市立病院の病床数を現在の501床から381床とする

◎産科・小児科の復活を考えているのか。

◎東京の間ドクターバンクと折衝するなど、最大の努力をしている。

◎医師2人・5病床のよねやま診療所を30床の慢性期療養に変更できないか。

◎病床については、佐沼病院、豊里病院で担って、診療所は外来、かかりつけ医としての診療機能をきちんと担っていく。

反対討論

◎この4月からよねやま病院が無床診療所になるということだが、地域との対話もなされていない状況だ。病院減らしに反対する。

浅田 修議員

◎病院縮小一辺倒を改め、福祉、医療のまちを目指すべきと考え反対する。

佐藤恵喜議員

（起立多数で原案可決）

高倉勝子美術館の指定管理

◎提案された団体の入場者を計算すると年間9600人であるが、ツアー企画とか具体的な提案は。

◎現在民間旅行会社のツアーで、40〜50人のツアーを1カ月に10回程度開催している。今後、市のイベントに合わせた独自ツアーを開発したいとの提案である。

出張所廃止条例 登米市の特定事務を 取り扱う郵便局の指定

◎新田出張所、米谷出張所、錦織出張所、横山出張所を廃止する。

◎戸籍、住民票、税証明等の各種証明書の交付事務を取り扱わせる郵便局を指定するもの。

◎指定する郵便局：新田郵便局、米谷郵便局、錦織郵便局、横山郵便局

◎郵便局に委託した場合、これまでとサービスは同じか。

反対討論

◎死亡届などの各種届出は、総合支所受付になる。
◎郵便局ならず、JAや民間金融機関は考えなかったか。
◎出張所が廃止となる4地区とも、郵便局が設置されていたためである。

◎地域サービスを心配して設置したものであり、市民均等にサービスすべきである。長期的な視点に立ち、本当に必要なのか再度検討して決めるべきである。

（起立多数で原案可決）



登米総合体育館
登米総合運動公園
登米武道館



追公民館、追勤労青少年ホーム
北方公民館、追青少年センター
追農村環境改善センター
新田公民館
森公民館、追森農業研修センター



南方公民館、南方農村環境改善センター
南方歴史民俗資料館
東郷公民館、南方東郷運動広場
南方老人福祉センター
南方定住促進センター
西郷公民館、南方就業改善センター



米川公民館
東和国際交流センター
米谷公民館
不老仙館
東和後合コミュニティセンター



南方武道伝承館
南方総合運動場
南方中央運動広場



米谷郵便局



錦織郵便局



新田郵便局



横山郵便局

平成23年4月1日から各種証明書が、上記の郵便局の窓口において申請・受取りが可能になります。

減債基金積立金10億円

地域密着型特別養護老人ホーム 4月オープン

一般会計に14億6,226万円を追加し、総額を420億7,888万8千円とするもの。
歳出の主なものは、市債の償還に必要な財源の確保を目的とした減債基金積立金10億円、旧豊里小解体事業費1億9,250万円、JAが整備す



る水稻種子温湯殺菌施設への補助金599万円、生活保護世帯の増に伴う生活保護扶助費6431万円など。
地域密着型特別養護老人ホーム3施設の整備事業費は1402万円の増で、県支出金が増し補助され、4月開所に向け、工事が進められている。

一般会計補正予算質疑
① 旧豊里小学校の解体後の跡地利用は。
② 敷地面積が3.1ヘクタールあり、工場用地等も含め、跡地活用を関係部局と連携し検討している。
③ 生活保護申請では、まだ働ける年齢でも就職先がなく、困っている申請が多くなっている。A 基本的には民生委員に相談してから申請していただく。若い稼働年齢層の方は、できるだけハローワークでの求職活動を行うよう指導している。

一般会計補正予算の主なもの

- 減債基金積立金 10億円
- 介護・訓練等給付費 4,472万円
- 子ども手当給付金 1,339万円
- 地域密着型介護老人福祉施設整備事業費 1,402万円
- 生活保護扶助費 6,431万円
- 緊急雇用創出事業費 720万円
- 水稻種子温湯殺菌施設整備事業費 599万円
- 旧豊里小学校解体事業費 1億9,250万円

第5回臨時会

第5回臨時会が10月27日を開かれ、財産の処分など3議案を原案のとおり可決しました。

財産の処分
長沼工業団地内の土地を譲渡するもの。
◎トヨタ東北株式会社
面積5万7797平方メートル
金額1億403万4600円
◎浅井鉄工株式会社
面積4675平方メートル
金額841万5000円

12月定例会

請願

常任委員会に付託され、審査の結果、採択された請願2件を、本会議でも全会一致で採択しました。
○地域体育施設の改修をもとめる請願
○住宅リフォーム助成制度の創設に関する請願

陳情

議員発議による決議が提出され、審議の結果可決しました。
○登米市弓道場の早急な整備を求める決議

意見書

公益に関わる意見書が提出され、審議の結果可決しました。
○義務教育費国庫負担制度の維持と教育予算の拡充を求める意見書
○環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)に国民的議論も合意もないまま拙速に参加することに反対する意見書

第6回臨時会

第6回臨時会が、11月29日開かれ、一般職の給与と期末手当、特別職、議員の期末手当を引き下げる条例改正や本年度各種会計補正予算など12議案を審議し、原案のとおり可決しました。

また、市の第三セクター「株式会社いしこし」が21年度決算を不適正に報告した問題で、修正した21年度決算の内容が報告されました。

特別職、議員の期末手当の条例を改正

市長・副市長・教育長・病院事業管理者、市議会議員の期末手当を年間0・15月分引き下げるもの。

職員の給与に関する条例を改正

国家公務員に準じ官民給与の格差を是正するため、一般職の給与を平均0・1%、期

反対討論

登米市職員の給与が大幅に落ち込むことは、この地域の給与水準を引き下げることにもつながり、市の経済活動そのものを停滞させることとなる。今回の給与減額措置には賛同できない。
佐藤尚哉議員

(起立多数で原案可決)

12月定例会での審議結果(意見が分かれた議案について掲載しました)

議員名	議決結果	賛成	反対	採決結果																															
				金野 静男	工藤 淳子	小野寺金太郎	武田 節夫	遠藤 音	阿部 正一	佐々木 一	田口 政信	及川長太郎	浅野 敬	菅原 幸夫	二階堂一男	相澤 吉悦	浅田 吉修	伊藤 吉浩	庄 喜一	関 孝	田口 久義	佐藤 恵喜	及川 昌憲	佐藤 尚哉	沼倉 利光	佐藤 勝一	岩淵 勇一	中澤 宏	伊藤 栄	熊谷 憲雄	岩淵 正宏	八木しみ子	星 順一		
長沼工業団地の緑地及び環境施設の面積を敷地面積の1%以上と定める条例の制定	可決	23	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
登米市総合支所の出張所を廃止する条例の改正	可決	28	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
出張所の廃止に伴う事務を取り扱う郵便局の指定	可決	28	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市立病院の名称・診療科目・病床数などの変更に関する条例の改正	可決	19	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
高倉勝子美術館の指定管理者の指定	可決	18	11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
登米市弓道場の早急な整備を求める決議について	可決	24	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

第6回臨時会での審議結果

人事院勧告に伴う登米市職員の給与に関する条例の改正	可決	25	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
---------------------------	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※採決結果欄 ○…賛成、×…反対、欠…欠席、議…議長。



第2、第3弾も期待する事業評価

問 外部評価にあたって、まず委員が市の事業内容を理解することが先決。行政としての配慮は、



田口久義 議員

答 国・県の補助金の絡り込むべきと思うが、

問 少なくとも国の事業

答 今後とも改善を行うため、継続していく。

答 市民感覚の把握とその反映

問 『登米市版』事業仕分けの目的は

答 二日間の事前研修を実施。また必要に応じて資料の提供等を行った。

問 評価の事業対象が軽微な事業や福祉関連事業が多いように思う。例えば庁舎や陸上競技場建設、病院関係、行革等、もっと大きな事業にも切り込むべきと思うが、

答 経費削減に主眼を置くものではない。行政活動の必要性、成果、効率性を客観的に把握し、今後の計画や予算に反映させることが目的である。

問 目的意識が目に見える形で第一、第三弾も実施すべきと思うが、

答 今後とも改善を行うため、継続していく。

問 認可外保育所は、認可保育所と保育内容はほぼ同様であるが、入園児の減少や公立優先で途中



佐藤 勝 議員

答 核家族化の進行や女性の就業機会の増加で保

問 浸水被害の起きやすい迫町佐沼の川西地区は、いまだその根本的な対策が進んでいない。特に、平成17年に再開された長沼川の改修事業のう

答 川西地区で常習的に冠水する地域に、長沼川改修の進捗と整合性をとりながら、具体的な雨水排水計画を事業化に向けて検討する。長沼川の改修事業は県との事業調整会議での要望や、知事への直接要望など行う。



家庭的雰囲気での0歳児保育

答 重要な役割を担っており拡大検討

問 認可外保育所への支援を

育所のニーズが高まっている。待機児童の解消や家庭的雰囲気での保育、0歳児保育等で認可保育所を補完する重要な役割を担う認可外保育所への支援拡大について検討したい。

ち、本工事部分が本年ストップしている。同事業の中断は、市民の安心安全を無視したものである。23年に何としても工事が再開されるよう県に対し、強く求められたい。

み等、市独自の裁量では難しい部分もあるが、今後検討する。また大きなプロジェクトについては、住民説明会等で、まず対応すべきと考える。

仕分けは各種削減による財源捻出が至上命題。それとは意を異にするのか。与えられた財源の範囲の中でお金のやりとりをしていけばよいということではないと思うが、



子どもたちにつながる農業経営を

問 登米市の気候は、比較的温暖で水資源にも恵まれ稲作に最も適している。しかし、昭和60年産



相澤吉悦 議員

問 登米市の気候は、比較的温暖で水資源にも恵まれ稲作に最も適している。しかし、昭和60年産

問 平成22年産米を売り

答 農業が産業として自立できるような取り組みをしつかりと進める。

答 農業に従事できる体制を整える

問 厳しい農家経営をどう乗り切るか

米2万924円の最高値を最後に、年々米価が下がりがり平成22年産米は、1等米8700円であった米を収穫し、販売をしてみても所得の大きい大きさに驚いた。厳しい農家経営をどう乗り切っていくか、まったくわからない状態である。市、JAみやぎ登米、JA南三陸、

答 JAみやぎ登米では米穀販売促進担当を配置し、主に首都圏における新たな販売先の掘り起こしや情報収集に専門的に取り組んでいる。水稲緊急支援資金、農業経営維持資金の利子補給事業に取り組んでいる。

問 本当にこのまま稲作を続けていくといいのだろうか、これが農家の実情だと思ふのだが、

農家が一体となり、今後の経営対策等に取り組みべきと思うが、

答 登米市産農産物広告宣伝事業における全国に向けたPR事業や米の卸売業者を訪問し、登米市産米の取り扱いのお願いなどもJAみやぎ登米とともに実施してきている。

市政

こころが聞きたい

一般質問は、12月2日から4日間、19人の議員が登壇し、当面する市政の課題について活発な議論が行われました。
(紙面の都合により内容を要約してお知らせします)
※ 議会ホームページで録画中継をご覧いただけます。

一般質問



よねやま病院の診療所化、地域説明会

問 市民が安心して暮らすためには、医療と教育がしっかりと整備されなければならない。有識者に



佐藤恵喜 議員

問 議会の特設委員会

答 経営改善のため医療局内に経営戦略推進会議を設置し、本市が一丸となって改善計画作りを進めている。改革プランの見直しは考えていない。

問 市立病院は公設公営で改革を

答 経営形態見直し前にやるべきことをやる

よる市立病院のあり方懇話会からの報告等を踏まえ、改革プランの見直しを行うのか。

答 経営改善のため医療局内に経営戦略推進会議

問 公共下水道計画区域において、計画未確定地区や公共マスまでの距離等の関係で、合併処理浄



二階堂一男 議員

答 現在進めている迫豊里、米谷錦織、津山石越の各処理区について平成20年度から今年まで

問 公共下水道エリアの見直しを
答 経済性、施工性を考慮し見直し中

化槽を希望する家庭を散見する。早期の水質浄化と費用対効果の上から条件の見直しが必要と思う。また、事業の進捗状況と341億円強の市債の返済について伺う。

市債の返済については、施設の初期投資に多大の経費が伴うことで生

じたもので、一般会計からの繰り入れに頼らざるを得ない状況である。今後は、事業費の見直しや接続率の向上を図るとともに、維持管理費抑制のため、包括的民間委託への検討を来年度から進め、24年度から実施したいと考えている。

●市道、橋、山地排水等の点検について
●文化財の保護、管理について



見直しが求められる下水道工事

実施したアンケートによると、改革プランに賛成の医師は一人だけ。看護師等も同傾向。経営形態は、独立行政法人化などより、公設公営が多数だったが。

問 医療秘書の配置が大事と前にも申し上げたが。
答 本年度、職員を研修に出している。拡充する。
問 プランどおり、よねやま米谷病院の診療所化では、地元入院できないということに、見直さざるを得ないのでは。
答 プランの通り再編を進める。米谷病院は24年度までは病院として維持するが、その後については早い時期に判断する。



市民1000人井戸端会議

問 自治体の憲法といわれる「まちづくり基本条例」と基本構想や個別の条例の位置づけは。



田口政信 議員

問 市民参加の条例づくりの具体的な手法は。

答 総合計画は市民参加を基本に市民の創造力を生かし協働のまちづくりを推進することとしている。まちづくり条例は市民参加システムの構築を図り、情報の共有方法を明確にするため制定する。

問 条例の中に議会の関連分をどのように盛り込んでいくのか。

答 議会との協議の中で内容を調整しながら策定していきたい。

問 まちづくり基本条例をどうつくる

答 市民参加システムの構築を目指す

答 策定委員会で市民1000人の井戸端会議を開催し、「地域」「人」「産業」の三つのテーマに分類・集計し、シンポジウムやパブリックコメントを実施し、平成24年の施行を目指している。

問 新学習指導要領の改定で示されている「生きる力」を育むための準備は万全か。
答 生きる力を課題発見、課題解決能力と社会性と定義づけ、幼稚園は外遊びから、小・中学校では、教科、領域を通して課題解決型の学習を推進し、社会性についても、体験活動や道徳教育を通して進めている。

問 23年度の県予算は1・3%減の規模となる見通しで厳しい財政運営になりそうである。本市



小野寺金太郎 議員

答 人口は5年間で5347人減少している。これに連動して歳入の40%以上を占める地方交付税

の一定程度の減や、市税の増加も見込めないなど厳しい財政状況にある。

●外部評価結果について

問 23年度予算編成の重点施策は

答 厳しい財政状況を見極めて選定する

の財政はどうか。市長の重点施策を伺う。
①病院事業への繰入額と改革プランは②建設・水道等の公共事業は③TPPと本市の農業は④教育関係事業は。

①計画では総額20億円余りを見込んでいる。改革プランでの目標に加え、経営改善項目の実現に向けた具体的な取り組みと成果が問われる。病院事業にとって大きな節目の年になるものと認識をしている。

②合併時に引き継がれた事業を中心に、交付金事業で特定財源が見込まれる。計画をしている。

の増加も見込めないなど厳しい財政状況にある。

事業を、緊急性や整備状況を勘案しながら進めたい。



合併時に引き継がれた危険な歩道の整備は



整備が望まれている生活道路

問 市道朴の沢支線(仮称)の認定は合併の引継事項で、用地登記料も含み寄附を受けていると聞



菅原幸夫 議員

答 建設水道委員会に意見を伺う

問 早期認定すべきと思うが。
答 路線は、東和町米川地内の市道朴の沢・畑の沢線から分岐する砂利道の2軒の生活道路で、平成16年アスファルト舗装を目的に寄附採納願いで受納した。道路整備に係る引継ぎ路線としては箇所づけがされなかった。

問 県際交流を進めるべき

藤沢町大籠、千松地区は生活圏が登米市であり、観光地キリシタンの里。気仙沼・佐沼間のバ

問 2軒の利用にとどまらず重要な道路であり、調査すべきと思うが。
答 建設水道委員会の意見も踏まえ調査検討する。
問 県際交流を進めるべき
答 藤沢町大籠、千松地区は生活圏が登米市であり、観光地キリシタンの里。気仙沼・佐沼間のバ

問 農業再生への市独自の新たな取り組みを。
答 22年産米価下落により、農家の所得減少への



及川長太郎 議員

問 農業再生へ市独自の取り組みを
答 リスク分散と制度変更を実施

緊急対策として、農協と連携し、水稻緊急支援基金、及び農業経営維持資金への利子補給を実施。農業経営の安定化を図る事が必要で、経営リスクの減少施策として、単一経営から、稲作、園芸畜産を組み合わせた複合経営により、リスク分散の誘導と支援を図りた

問 中田町の生産組合・

問 7カ所ある有機センター周辺への畜舎のリース事業の考えはないか。
答 以前に動向調査したがその時は至らずということであった。現在の農業情勢を考えると、新たな人材の掘り起しで事業化できるものであれば努力したい。
問 農事組合法人では農家へ借地代を早期支払いのため、農協から借入れして立替払いをしたと聞くが、市でも対応すべきではなかったか。
答 何とか資金対応できないか話しはあった。残念ながら制度の中では、産地交付金は国が直接支払うというモデル対策、戸別所得補償、本格実施に向け、市でも早期支払いに努力する。法人自らの努力で立替え払いとしたことは評価している。



単一経営から複合経営へ (県家畜市場)



おいしいネ...学校給食 (佐沼小学校)

問 学校給食センター計画が進められているが、「センター化になることは知らされていない」と



工藤淳子 議員

問 給食センター計画はPTA参加を
答 パブリックコメントを実施する

問 学校給食センター計画が進められているが、「センター化になることは知らされていない」と
答 学校給食センター計画が進められているが、「センター化になることは知らされていない」と
問 給食センター計画はPTA参加を
答 パブリックコメントを実施する

問 一体的状態は変わりにないのに、判定が軽くなり、困っている」という声や相談が寄せられている。市としてどう捉えているか。
答 可能な限り実態に合った審査を行う必要がある。正確な情報により公平公正な審査に努める。

問 保育を必要とするすべての子どもたちに保障するには、規制を緩めながら多様な主体に委ねる道がよいのか、公的責任のある認可保育所がよいのか、どの道を選択するか。市長の考えは。
答 制度の詳細がどのようになるにしろ、民間の方の力は必要不可欠で、今後も必要性は高まっていくと認識している。

問 宮城県議会で県の出先機関を原則廃止して、市町村に財源を交付金化してはとの提案質問があ



遠藤 音 議員

問 県の出先機関廃止について
答 市長会で話題にしたい

った。出先機関改革の一方の当事者である市長の考えは。
答 県の地方機関が持つ窓口機能、現地即応型機能、事務事業執行型機能の三つの現地对応型機能が失われ市民生活などに多大な支障が懸念されるため、県と市が協議を重ね慎重に対応する必要がある。

問 現地对応型機能こそが基礎的自治体である市が担っていくべき機能である。前にも話をしたように、岩手県と全市町村で行う権限移譲プログラムのよう、工程表に従い人事、財源、権限の移譲を進めるような取り組みを他の自治体と連携していく考えはないか。
答 権限移譲のハードルを整理しながら、市長会の中でも話していきたい。

問 登米市が目指す行政システムの未来像は
答 5年、10年後の行政システムの姿を具体的に市民に示すべきと考えるが。
問 市の行財政改革大綱で示す簡素で効率的な組織の構築に努めているが、将来の厳しい財政構造を踏まえた行政システムを構築し、これまで以上の行財政改革を推進し、実施していきたい。



問われる県の出先機関



米谷病院ロビーで開かれたクリスマスコンサート

問 仙台・宮城デスティネーションキャンペーン（DC）が本県で開催され、日本全土に宮城の魅



伊藤 栄 議員

力が紹介され、新たな課題と反省、そして地域再発見の機会でもあった。県では再度のDC誘致を目指している。本市の観光拠点である、とよまの街並み景観整備事業に磨きをかけるため、地域限定で補助金の上乗せ、不在地主の板塀等を賃借し、総合的に整備できないか。

問 みやぎの明治村に磨きをかけ、
答 とよま振興公社と連携をとる

また、登米伊達家の宝物や資料等が展示されている懐古館は、旧登米町名誉町民渡辺政人氏（故人）の寄贈であるが、築50年を迎え、耐震や空調設備が整っていない。隣接する収蔵庫も同様である。合併時新市に引き継いだ懐古館改修事業であるがこれをどう考えるか。

直接的に個人の不動産を賃借して維持・修繕することは想定していない。懐古館は当時最新の建築様式であったが老朽化が進んでいる。また収蔵資料管理のための専用空調設備は整備されていない。19年度に展示場の床張り替えや照明器具の交換工事を行ったが、今後とも計画的に修繕を行う。収蔵庫は毎年燻蒸処理を行うなど貴重な文化財の管理に努めている。

問 登米市立病院経営改革の方向は？

答 懇話会の報告を尊重し、改善する



浅野 敬 議員

問 市立病院に求められる役割は何か。
答 地域住民が必要とする救急医療やへき地医療

などの民間医療機関が関与しにくい不採算部門を安定的に提供すること。
問 市立病院の方向性は。
答 求められる役割を果たすため、効率的な運営と安定した経営基盤の確立に向け、改革プランに基づき経営改善に取り組んでいる。

トップと職員の意識改革に関して、現管理の下では改革できないのでは。
答 病院事業管理者と意思疎通をして、目に見える効果が出るよう職員組織を束ね導いて行く。
問 望ましいのは「全適」「非公営型の独法」「公設民営の指定管理者制度」「民間譲渡」か。
答 病院事業全体の経営の中で市が関与する取り組みを確保しつつ、経営改善を進める手だてとして、先ず「全適」を基本

とし、個別の医療機関では、その医療体制継続が担保される場合、「公設民営」「民間譲渡」もある。
問 頼れる病院ランキングで佐沼病院より上位の米谷病院を、25年度以降どう扱うのか。手薄な市北東部に、必要な病院として市が設置し、運営は民間でという発信をすべき時と思うが。
答 その医療体制を何とか確保するため、早い時期の具現化に向け、取り組む。



築50年を迎える登米懐古館



直接販売を進める佐渡米

問 JAみやぎ登米における取扱量は64万俵であるが、全農委託は87%で直接販売は13%しかない。



伊藤吉浩 議員

JAと連携をはかり直接販売戦略を作る必要があると思うが。
答 課題等を整理しながら早く有利に販売できる体制を作り上げたい。
問 「佐渡米戦略」のコンセプトは「佐渡コシヒカリ」として店頭に並べてもらい、手に取ってもらうことをかかげている。

また、「トキと一緒に育ったお米」として独自の米袋を使用して販売し、現在、思いを伝えてくれる推奨店が年々増えている。こうした取り組みが必要と思うが。
答 すばらしいのでぜひ取り組みたいと考える。

この事業は農業分野における協働事業そのものである。次期対策も生物多様性等のもとで推進すべきと思うが。
答 本市における環境の中で極めてマツチする事業であり、推進していく必要があると考える。

問 「佐渡米戦略」を参考にすべき！
答 ぜひ、取り組みたいと考える

問 地域経済への波及効果が大きいと期待される住宅リフォーム助成制度の早急な実現を。



佐藤尚哉 議員

答 個人資産の形成に直接結びつく一面もあり、実施の自治体の状況を見ながら対応したい。
問 受注拡大で雇用の創出を確保するための施策を。
答 受注機会を増やすため分離・分割工事発注を推進。適正な競争に配慮

した応札範囲の拡大。市内企業生産品の調達推進基本方針を制定し、市内調達に努めている。小規模工事の登録業者は44社と2倍になった。
問 市民の図書館利用が増えている。司書を配置して読書環境の充実を。
答 図書館の性能向上もあり、市民のニーズの把握に努めたい。

十分配慮する。基準財政需要額として約2千万円交付され、小・中学校の図書費は434万6千円である。
問 耳の不自由な市民が多くいる。磁気ループを使うとはっきり聞こえるという。市でも設置を。
答 補聴器の性能向上もあり、市民のニーズの把握に努めたい。



読書環境の充実を



地場産材の机・椅子で学ぶ（横山小6年生）

問 大きな米価下落による農業収入の減少は、多くの農家で資金繰りが悪化し、本市経済に与える



関 孝 議員

問 米価下落、農家が生活できる対策を
答 J Aと一体的な販売戦略に努める

影響ははかり知れない。農家の再生産に向けたあらゆる支援対策を図れ。
答 市の米生産量は100万俵、38億円の産出額減少が見込まれる。農協と連携し、短期長期資金の利子補給を行っている。「登米市産」としての販売戦略が課題。価値に見合う価格に上げていく

く力が市に求められている。資金を借りることさえできない現実ではないか。山形県では、農業資材費の支払い猶予、各種賦課金の支払期限の弾力的運用を要請。農閑期の農家の就労機会の確保対策を打ち出しているが、
答 支払いを延長してもいざい返済の時期がくることから、制度資金を用意したものである。雇用対策は、今後、国の補正の中でできることを具体

化したい。
登米産材で机・椅子を
問 林業の経済対策として、市産材を活用した学習机、椅子のもののづくりを進め、改築予定の佐沼小への導入はもとより、年次計画で全学校に普及整備を図ってはどうか。
答 林業の活性化、地場産業の振興、学校教育に与える効果はある。価格や使い勝手の面で課題もあり、当分の間は現在のものを使っていきたい。

問 在京町人会では経済情勢が厳しい状況等を含め会費が減少し、運営が厳しくなっていると聞



阿部正一 議員

問 在京町人会に支援を
答 支援を考えながら取り組む

く。支援をすべきではないか。これまで企業誘致などで大変お世話になっている。財政的な面で支援が厳しいのであれば、議員が在京町人会に参加する際に支給されている旅費を廃止し、その財源を在京町人会に支援してはと考える。お願いする時だけお願いし、困って

問 道路整備について
答 前にも質問している

が、品ノ浦圃場整備完了後の舗装整備は、また、ため池整備は。
答 集落道3号線は本年度完了予定、2号線は23年度舗装予定、ため池は26年予定。
問 駒見橋泥内線完了は、
答 泥内線は23年度完成予定、その他の道路については用地買収が進まない。
問 中沢線を工業団地専用道路として拡張してはと考えるが、どうか。
答 企業と話し合い、検討する。



東京迫会の総会受付



他産地との差別化で有利販売を

問 今年の米価の下落により農家経済は深刻な状況と思う。現在の対応で十分と思うか。また、農



沼倉利光 議員

問 一日1億円の粗生産額。プランは
答 22年、米産出額の低下が影響

業粗生産額一日1億円の現状での見込みを伺う。
答 10㏄当たり出荷量を510キと仮定した場合、3万2300円の減額で、戸別所得補償1万5000円、国からの変動払いが仮に1万1000円の見込みでも実質6300円の減額で、農家は深刻な状況となる。す

で、水稲緊急支援、農業経営維持資金を創設して利子補給を実施している。一日1億円創出プランの21年は309億300万円で、22年の見込みは米で6億8500万円の減で、米の産出額の低下はプランの達成に影響している。今後は他産地米との差別化を図り、有利な販売につなげる取り組みが必要と考える。
問 今後は総力を挙げて有利な販売をするという

が、今年の8月に某炊飯ジャーのコーマーシャルに出ている、大阪の有名な「銀シャリ屋ゲコ亭」が、米が欲しいと要望したところ農協から断られ、中田の農家が供給したことどう思うか。
答 J Aの方と席し対応したが、お話のような状況になったと聞いている。ブランドになり得る米の戦略上、極めて残念で不十分な取り組みと感じている。

問 本市は県内で自殺率が最も高い。自殺の要因の一つとされる「うつ病」の実態、取り組み状況及



八木しみ子 議員

問 「うつ病」予防対策は
答 重要な問題、取り組みを強化する

び強化策について伺う。
答 各種の教室や事業を通し、心の病に関する知識の普及・啓発、孤立しない仲間づくりの支援事業、並びに地域における自主的な活動支援を目的に精神保健に関する講座等を開催している。本年度は「睡眠キャンペーン」を重点事業とし、

うつ病の前兆の有無を判定する簡単な自己診断シートを全戸に配布し、早期発見と早期治療を促進した。実態把握は難しいが、今後も関係機関と連携し心の健康づくりを推進する。
問 心の健康づくりとは。
答 保健対策として推進しているのは、専門医等による「心の相談」や母親の孤立化を防ぐ「こころには赤ちゃんサロン」、中学・高校生対象に「命の講座」、閉じこもりを

防ぐ「元気高齢者事業」などを実施している。
問 職員への予防対策は。
答 メンタルヘルス研修を昨年は2回、22年度は年6回と職場内研修を実施した。常日頃の行動を見極めるのも大事である。
問 除雪は迅速に。
答 各支所による確認判断、連絡体制の下に対応しているが、さらに的確な情報の把握と、県と市との一体的な作業等を検討するなど、市民サービスの向上に努めていく。



除雪は迅速に

委員会 レポート

常任委員

会活動報告

総務企画委員会

○9月21日調査
登米市定員適正化計画について

定員適正化計画は5年で240人、行財政改革大綱では10年で450人の削減を目標としている。5年で計画を上回る目標が達成できそうである。行財政改革大綱では病院の縮小等で、市長部局が増える傾向にある。総人件費を見直し、中・長期的な定員削減計画を立て、行政改革を進めるべきである。

総合支所・出張所の方向性について
総合支所は合併時に住民サービスの低下を避けるため設置したものである。総合支所の新たな体制づくりが示されたが、住民サービスの低下させないよう慎重に取り組むべきである。4出張所の廃止に伴う代替策は郵便局になるが、各種届出は総合支所での手続きが必要となる。

教育民生委員会

○9月21日調査
栗原市「南部学校給食センター」について(視察調査)

平成18年に開設し、1日の調理能力は3500食。建設費は9億8149万円で、最新のドライシステムを採用している。アレルギー対応では、特別食室を設けて調理している。

学校給食センター再配置計画について
合併と施設老朽化に伴い、センター方式の方向に進んでいる。食育、アレルギー対応の取り組み、地産地消など、単独方式の優位性を認め、センター方式でもその理念を十分取り入れた対策が取れるよう、関係機関と協議が必要である。

議会の動き



市の鳥は「はくちょう」に決定



単独方式の北方小学校給食センター

平成18年に開設し、1日の調理能力は3500食。建設費は9億8149万円で、最新のドライシステムを採用している。アレルギー対応では、特別食室を設けて調理している。

学校給食センター再配置計画について
合併と施設老朽化に伴い、センター方式の方向に進んでいる。食育、アレルギー対応の取り組み、地産地消など、単独方式の優位性を認め、センター方式でもその理念を十分取り入れた対策が取れるよう、関係機関と協議が必要である。

○9月24日調査
一般廃棄物最終処分場建設計画について
予想される宮城県沖地震等を考えた場合、早期の整備が必要であるが、建設にあたっては地域住民への十分な説明を行う必要がある。

新型インフルエンザワクチン接種事業について
任意の予防接種であるが、接種率が向上するよう、医療機関と連携を図りながら啓発することが必要である。

産業経済委員会

○9月15日調査
第三セクターの経営状況について

なかだ農業開発公社などは、第三セクターの役目を既に果たしたと思われる。検討委員会などで運営の見直しが必要。降ひよう被害対策について
自然災害による農作物の被害対策は、場当たりの対応ではなく、一定の基準を設定し対応する必要がある。

口蹄疫対策について
それぞれの畜産農家が十分な対策をとる必要がある。防疫に関する指導と確認が必要。

その他の調査事項
企業立地促進事業
農地制度実施円滑化事業
農用地利用集積円滑化事業

建設水道委員会

○11月1日、2日視察調査
秋田県鹿角市「共動維持管理資材支給制度」について

事業対象者は全自治会で、対象作業は市道や河川等の維持管理作業である。支給資材は砂利、側溝の蓋、草刈機の燃料などで、支給限度相当額は20万円であり、市民から高く評価されている。

本市でも部局ごとに具体的メニューを掲げ、目に見える形の協働事業を進めることも有効な手段と考える。

除融雪対策の取り組みについて
除雪期間は12月10日～翌年3月25日まで、作業時間は午前3時～7時までで終了する。出動基準は積雪量が10センチ以上に達した時など、5項目が明記されている。出動の判断は各業者がみずから計測し、気象予報を重視して出動している。



鹿角市での研修

岩手県紫波町「下水処理場の包括的民間委託」について
平成13年に国土交通省が公表した「性能発注の考えに基づく民間委託のためのガイドライン」により、16年から包括的民間委託を実施していた。委託効果は、性能発注方式に切り替えることにより、薬品量や光熱費の更なるコスト削減が図られていた。

本市でも更なるコスト削減のため、様々な検討が必要と考える。

○9月21日調査
米の戸別所得補償モデル事業及び米価の動向について

戸別所得補償の変動払いが3月となることから、負担金などの納期の



高性能林業機械「フォワーダ」

除雪期間は12月10日～翌年3月25日まで、作業時間は午前3時～7時までで終了する。出動基準は積雪量が10センチ以上に達した時など、5項目が明記されている。出動の判断は各業者がみずから計測し、気象予報を重視して出動している。

本市でも高いサービスを提供できる手法を検討

岩手県紫波町「下水処理場の包括的民間委託」について
平成13年に国土交通省が公表した「性能発注の考えに基づく民間委託のためのガイドライン」により、16年から包括的民間委託を実施していた。委託効果は、性能発注方式に切り替えることにより、薬品量や光熱費の更なるコスト削減が図られていた。

本市でも更なるコスト削減のため、様々な検討が必要と考える。

- 10月
 - 6日 ● 第4回臨時会
 - 岩手県八幡平市議会行政視察来庁
 - 12日 ● 栃木県鹿沼市議会行政視察来庁
 - 14日 ● 議会報編集特別委員会
 - 埼玉県浦川北本水道企業団行政視察来庁
 - 15日 ● 議会改革調査特別委員会
 - 19日 ● 議会報編集特別委員会
 - 20日 ● 全員協議会
 - 地域医療確立調査特別委員会
 - 岩手県釜石市議会会派行政視察来庁
 - 25日 ● 議会改革調査特別委員会
 - 26日 ● 地域医療確立調査特別委員会行政視察
 - 27日 ● 第5回臨時会
 - 地域医療確立調査特別委員会
 - 愛知県江南市議会行政視察来庁
 - 山形県戸沢村議会行政視察来庁
 - 28日 ● 議会改革調査特別委員会
 - 29日 ● 議会報編集特別委員会
- 11月
 - 1日 ● 建設水道委員会行政視察(～2日)
 - 2日 ● 議会改革調査特別委員会
 - 4日 ● 議会報編集特別委員会行政視察(～5日)
 - 8日 ● 議会改革調査特別委員会
 - 栃木県栃木市議会行政視察来庁
 - 9日 ● 産業経済委員会行政視察(～10日)
- 12月
 - 1日 ● 議会改革調査特別委員会
 - 2日 ● 12月定例会開会(～16日)
 - 6日 ● 議会運営委員会
 - 7日 ● 全員協議会
 - 8日 ● 各常任委員会
 - 9日 ● 議会報編集特別委員会
 - 13日 ● 各常任委員会
 - 14日 ● 各常任委員会
 - 15日 ● 議会運営委員会
 - 20日 ● 議会基本条例策定委員会
 - 21日 ● 地域医療確立調査特別委員会
 - 28日 ● 議会改革調査特別委員会

あなたの声 市民 メッセージ わたしの提言

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

中学生とつどきおんじ



はたけやま たくやさん
島山 拓也さん
(東和)

先日、登米市市制施行5周年記念の行事「こども議会」に参加し、中学生議員として、実際の議場で市長さんと教育長さんに一般質問しました。

私は、東和中学校の通学路について、道路やガードレールが壊れていて危険であったり、防犯灯が少なく怖い思いをしながらか校していることなどを取り上げ、議論しました。

市長さんは、安心して安全に通える通学路にしたいという思いを述べられていました。他校の中学生議員からも、多くの質問があり、答えていました。

市長や議員の皆さんは、こんなにも難しい事をこなして、市のため市民のために頑張っているのだなと思うと本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の体験を通して、中学生でも自分が住んでいる市のために、意見や提案など、できることもあると感じました。

読みやすく 分かりやすい 議会だよりを目指して

視察調査11/4~5
議会報編集特別委員会



美郷町の議会だより

秋田県 美郷町議会
親しみのある紙面づくり

誰もが手にとって見てもらえる議会だよりを目指しているという美郷町。写真を効果的に使用し、審議内容は少ない字数の文章で掲載することに徹底していた。町が直面する課題や議会で審議された重要案件など、興味を引くようにレイアウトされており、親しんでもらえる紙面づくりを基本としていた。

秋田県 湯上市議会
できるだけ多くの内容を

真実を市民に分かりやすく知らせたいとのこと、質疑や討論を原文に近い形で編集していた。特筆すべき点は、写真より記事にスペースを割く部分であった。

今後の編集は、まず読んで、興味を持ってもらうことから、他市の良い点を取り入れ、登米市議会ならではの議会だよりを作成していきたい。

より適正で円滑な 議会運営を行うために

視察調査11/11~12
議会運営委員会

岩手県 花巻市議会
平成22年6月議会で議会基本条例を制定。条例策定における基本方針は、①監視機能の強化②議員同士の自由討議③議会報告会など、市民との意見交換の場を設けるという3点。その精神は、条例前文をはじめ全体に貫かれていた。議会閉会中に市長等に対して文書質問を可としたことがユニーク。

登米市議会も条例制定

に向かっている。良いものをつくり、実際に運用することが大切と再確認できた。

秋田県 横手市議会
議会運営と議員連盟について研修。予算、決算の特別委員会の審査は、所管の4委員会（分科会）へ付託している。

議員連盟は会派や委員会活動とは別に、スポーツ振興、森林・林業・林産業活性化推進、果樹振興、消防、スマートイン



花巻市議会

ターチェンジ整備促進の議員連盟を結成し、事務局を議会事務局に置き活動していた。

首長パンチ!!

佐賀県武雄市長 樋渡 啓祐氏講演

1月19日、議員会主催による「新春講演会」を開催。「力強い」地方づくりのための、あえて「力強い」戦力論と題して講演をいただいた。樋渡氏（41歳）は異名「暴走特急」といわれるくらい、思いついたらすぐ政策に結びつける発想の持ち主。いつも職員を困らせているという。しかし「がばいばあちゃん」のロケ地誘致をはじめ、つくりあげた政策は数多く、その評価は日本一行政視察の多い自治体として裏付けされている。市立病院民営化の先頭に立ち、リコールされたこと

など、それでも地域のたゆみ、捨て身の覚悟で取り組む姿勢。見習うべき地域づくりのあり方を学んだ。会場は登米市職員、議員をはじめ、数多くの参加のもと、盛会のうちに会を閉じた。



登米市議員会新春講演会

◇お詫びと訂正
とめ市議会だより第22号の26頁、地域医療確立調査特別委員会の報告の中で「病院勤務医師34人」とあるのは、「病院勤務医師37人」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

自然環境保全と交通安全を!



かずまさ 一正さん
千葉 (石越)

機会がありここ数年、登米市グリーンツーリズムのホームステイ先となり、神奈川県や東京の中学生の生徒さん三〜四名ずつ泊まって頂いています。いつも言われることとして、「星がともきれいに見える」ということです。自分達にとってはあたり前の夜空の星なのですが、都会の子供達には新しい発見をした様に見えるのでしょうか。あらためて自然環境の良さに気がかかれています。ご飯の味も好評でうれしくなります。こうした石越の県道沿に住んでいることもあって、交通安全には気をつけていますが、歩道の未整備や伸び過ぎた樹木の枝の管理、特に石越駅跨線橋前後の歩道の未整備が気になってしかたありません。

人命尊重と自然環境保全の観点に立った市政運営を期待するとともに、市民としての協力も惜しまないつもりです。



かめい 亀井あゆみさん
(南方)

出逢い
“出逢い いつどこでだれとだれがどんな出逢いをするか それが大事なんだなんだなあ” 相田みつをさんの作品の一つ。自分のこれまでの人生の中で、この人に出逢わなければ今の自分はなかったと思えることが多くありました。現在自分は、多くの地域の方と関わって毎日を過ごしています。子どもから高齢者まで年齢層も広く、明るく元気に活動する皆さんからパワーを頂いています。この笑顔が、この笑い声が、多くの人の『生きる喜び』になつて欲しいと願わずにはいられません。

私達市民の代弁者として市政の場で活躍されている皆さんに託したいこと。一人一人の想いの届く『まちづくり』をして下さい。市民の声は、登米市発展のエネルギーの源。みんなが、心豊かに暮らせるまちであって欲しいと思います。